

第1回 連携に関する打ち合わせ会議

日時: 平成23年5月20日(金) 15:00～17:30

場所: 地震研究所1号館507号室

出席者: 吉澤(サブプロ②: 防災科研)、平田・酒井(地震研)

議題: 今年度の連携について

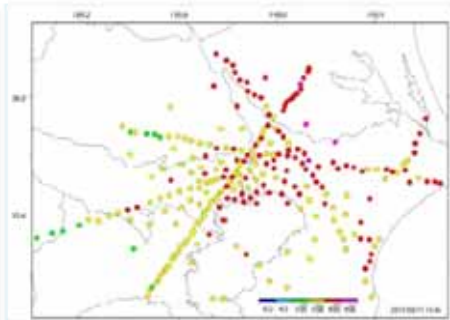
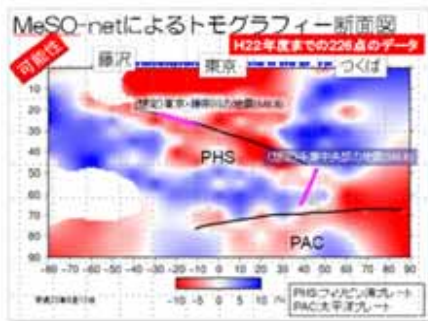
1. MeSO-netで観測された東北地方太平洋沖地震の記録
 2. 首都直下PJ平成23年度実験概要
 3. サブプロ②平成23年度実験で用いる入力地震動について
- ・ 振動実験に、3.11の地震で観測された波形に基づいた入力動を用いる予定
 - ・ 3日間の加振日を有効に使うことのできる入力地震動がどんなものか
 - ・ 試験体の頂部で震度6弱以上もしくは頂部の応答変位が1m程度発生するもの
 - ・ 3.11の地震で観測された記録を元にした入力地震動の作成を検討
 - ・ 3.11の余震記録の中から首都圏に近く、規模の大きな記録を用いることも検討
 - ・ 本震と最大余震(茨城沖M7.7)に対する新宿、品川、横浜、浦安での記録を提供

サブプロ①と③の連携に向けた取り組み

【首23-1-11】

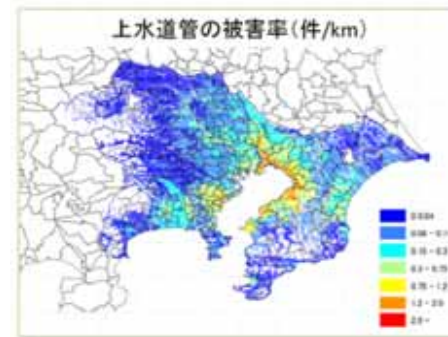
サブプロ①の成果

- 首都圏における高密度・多数地震の地震観測記録
- 実観測データによる首都圏の「揺れやすさ」
- プレートモデル、地震活動などを踏まえた最新の首都直下地震像



サブプロ③の成果

- 都県をまたいで適用可能な被害推定モデルの構築
- 「東京湾北部地震」による木造建物、上水道管、下水道管の広域被害予測
- 広域連携についての基礎的な検討



今後の計画

- 実観測記録による表層地盤増幅率の検証
- 断層モデルによる広域被害予測
- 面的な予測地震動にもとづく広域被害予測

最新の地震像と広域適用可能な被害予測モデルを用い、首都直下地震に対する広域連携の課題を明らかにする。



サブプロ①③連携研究会議（2011年6月24日）